



天然記念物

79. 鉢ヶ崎のハマドクサ群落

はちがさき

ぐんらく

■指定年月日 昭和48年7月16日(1973)

■指定面積 約36,000㎡

■所在地 蛸島町(鉢ヶ崎)

■所有者 珠洲市

蛸島町の東部海浜に広がる鉢ヶ崎クロマツ林に、ハマドクサが群落をつくって自生している。

ハマドクサは、シダ類トクサ科、常緑多年草のトクサの変種で、形はトクサに似ているが、茎の節の部分を包む鞘に違いがあり、鞘の長さが1～1.5cmもあって茎の直径よりも長く、しかも鞘の上部が広くてゆるく茎をおおっている。

ハマドクサが分布しているのは、北海道と岩手県と石川県のこの地域だけという。全国的にも稀な植物で、この地の自生は南限になる。

昭和5年(1930)の『石川県天然記念物調査報告』第6輯には、「県道の南側に狭く、北側に広く約20町に亘りて松林ありて、その下に木賊の大群

落あり」とあるが、現在は北側の松林が開発により縮小したため、南側の保安林内に保護区を設定して保護に努めている。